

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Incompletely excised basal cell carcinoma: a management dilemma?	
	論文の日本語タイトル	不完全切除された BCC の管理上のジレンマ	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ10-10	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	8634041	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Aust N Z J Surg	
	雑誌 ID		
	巻	66	
	号	5	
	ページ	276-8	
	ISSN ナンバー	0004-8682	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1996	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Sussman LA	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Middlemore Hospital, Auckland
	その他著者 1	Liggins DF	
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	不完全切除と診断された BCC に関して、速やかに再切除するか、臨床的に再発が確認されるまで経過をみるか、どちらの方法がよいか検討した	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	1986 年 Middlemore Hospital の組織記録	
	対象者	82 例（1986 年における 723 例中）の不完全切除例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	手術時の不完全切除例を追跡し、その治療戦略を考察する	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再発率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	不完全切除のうち、再発がみられたケースは全体で 30%であり、再発までの期間は平均 18.5 ヶ月であった。その内訳は再発率で示すと、 ① 部位：頭部 30%(18/60)、それ以外が 30%(3/10) ② 性別：男 27%(11/41)、女 34%(10/29) ③ 前治療の有無：原発例 31%(18/51)、再発例 25% (3/12) ④ 不完全部位：深部 35%(6/17)、側方 31%(13/42)、両方 18%(2/11) ⑤ 組織型：sclerosing 50%(5/10), Infiltrative 28%(5/18), 結節型 21%(3/14), 表在型 29%(2/7), 潰瘍型 29%(6/21) 不完全切除がどこにあったか（側方か深部かその両方か）、腫瘍の部位、組織型、性、以前の治療歴のいずれも再発率に関係なかった。	
	結論	不完全切除のわずか 3 分の 1 に関して追加治療が必要であったが、ほとんどの状況で経過観察もひとつの手段になり得る。再発は比較的早期に起こるので、少なくとも 3 年間の厳重なフォローアップが必要である。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（Ⅳ） BCCにおける不完全切除例では、速やかに治療を行わなくても経過観察もひとつの方法であるというデータを示している。
--	------------	--